

2015 年 10 月度定例理事会議事録 一速報一

2015 年 10 月 19 日 (月) 19 時 00 分 スター貸会議室四谷第一会議室

出席理事：増田、西谷、細田、清水、生木、野村、菊地(俊)、池田、橋本(美)、橋本(春)、  
櫛本、竹井、屋代、高橋、高松、坂、小倉(監事) 以上 16 名

委任状： 篠崎、田井、宮田(議長に委任)以上 3 通

欠席理事：石井、中川、菊池(誠)、島田、檜垣、村岡、鹿住 (監事)

会社役員会：井口、草深、木内 事務局：雪、松本 書記：坂倉

議長： 清水理事(グリーン委員会)

出席理事：14 名(19 時 00 分現在)委任状 3 通をもって 10 月度理事会は成立。

1. イベント委員会(菊地委員長)

- ・ 10 月から 12 月の予定として、10 月 24 日(土)に 2&1 コンペ、11 月 22 日には新規会員、コジロー会員と既存会員の交流会であるコタローカップが予定されており、参加者を募っている。
- ・ 2016 年の年間スケジュール帳の作成時期に当り、3 月 26 日学校対抗戦(〇〇大学チーム、海外チーム、私学連合チーム等、学校を単位としたグループ対抗)、7 月 23 日は町内会コンペ改め県対抗コンペをクラブライフ委員会主催のプールサイドのタベと同日開催、また同様に集客が難しい 2&1 コンペも 9 月 10 日のガゼボナイトに合わせ開催する。バースデーコンペは 2 ヶ月一緒に奇数月に開催したが、偶数月の出席者から不満の声があり、2016 年は毎月開催とする。春の講演会は三浦雄一郎氏に交渉中。
- ・ 2015 年度は主催コンペにマンネリ化が見られ、成立しないこともあった。委員のゴルフ稼働率が悪く、集客を事務局に頼っており、委員会の立て直しが急務。

2. 競技委員会(竹井委員長)

- ・ 11 月 1 日からシニア・スーパーシニア選手権が始まるが、一般客に迷惑をかけないように運営していきたい。
- ・ 担当ホール制の周知徹底の施策として、月例の組合せ表に会員番号を書き、担当ホールが何番であるかわかるようにしたが、担当ホール番号そのものを載せる、またピッチマーク、ディポット、バンカーの修復が必須と明記してはどうかとの意見があった。担当ホール制についてはニュースレター秋号で注意を喚起する。月例参加者だけではなく、メンバー全員の協力を得るために、バースデーカードやミニマムユース達成のお知らせ等を利用してはどうかとの意見が出た。

3. グリーン委員会(清水副委員長)

- ・ 日米友好の印として、ハナミズキ 3,000 本がアメリカから日本に送られることになったが、そのうちの 40 本を土太郎が貰い受けたので数本をゴルフ場に植えたい。玄関付近などコース外を想定しているが、場所の希望があれば教えてほしい。→理事会は予定の場所を地図上に示し、提出することを要望した。

- ・風呂の清潔化(浴槽に木の葉やごみが目立つ)を図ってほしい。→事務局は風呂の水位を上げ、木の葉等が流れ出るかを調査する。
- ・クラブハウスの老朽化が目立つ。

4. クラブライフ委員会(坂委員長)

12月5日開催のクリスマスカップの参加費を昨年より下げ、多くの人の参加を募る。ジュニアレッスン会も同時開催を予定している。

5. 広報委員会(野村副委員長)

- ・ニュースレター秋号について
- ・フェイスブックの活用について

6. ジュニア育成委員会(橋本(美)委員長)

9月18日の委員会報告

- ・8月26日～27日の1泊2日の合宿は、積極的にコースに出ることによって参加者に喜んでもらった。危険回避、マナーやルールを教えるために見守りボランティアが必須。
- ・ファーストティプログラムは現在のブリックには合致していないが、時間をかけてその理念を取り入れていきたい。
- ・ラウンド経験のある中高生を対象にレッスン会を予定している。ジュニア親族会員制度の宣伝をしたい(18歳以下はプレイフィーが無料)

10月8日の委員会報告

現在ジュニア親族会員は1名のみ。ジュニア親族会員制度の存在と利点をメンバーに知らせ、登録者の増加を図る。理事から、名義変更で未成年者が株主会員になった場合、ミニマムユースが達成できないという意見が出された。→役員会で検討する。

7. 青年部委員会(櫛本委員長)

11月9日に都内で青年部委員会が開催される。

8. 営業関係特別プロジェクトチーム(櫛本理事)

事業別に現状と課題の洗い出しを行った。

- ・ ゴルフ事業
  - 土曜日対策(閑散時のみ)として、限定10組16,000円をネットに出した。
  - 平日はリピーター増を目指し、申込書にメールアドレスを書いてくれたゲストには500円引きにするなどの特典を考えたい。
- ・ 食堂事業は原価率を見極めることが必要で、今後数ヶ月間、売上と仕入金額の提示を受け、検証する。
- ・ 売店事業における売上の半分はボール代である。都内の量販店と同等価格での販売を目指し、ブリックでのボールの購買を宣伝する。クラブはカタログで取り寄せが可能、またブリックオリジナル製品などをメンバーに知らせていきたい。

9. 新規会員獲得プロジェクトチーム(草深取締役)

- ・ 業者は使わず、会員の知り合いに声をかけてメンバーを増やす方法は続けていく。
- ・ 記事媒体に取り上げてもらう。
- ・ ホームページ、フェイスブック等を利用する。現状フェイスブックは広報委員会の

野村氏が管理しているが、これを公認フェイスブックにすることも検討する。

- ・ 土太郎とコラボ。住民でないメンバーが土太郎の施設を利用できるようにする。

10. 親族会員規則一部変更について(井口取締役)

親族会員規則の第9条(親族会員の入会金)の記述における〇〇歳未満を〇〇歳以下に変更する。これは第5条(親族会員の種類)において〇〇歳以下が使われており、混乱を避けるためである。→理事会は全員一致で承認した。

11. 特別年会費の進捗状況について

アクティブメンバー600人に選択をお願いしたが、返事があったのは177人のみである。選択依頼書を再送するが、理事は各委員会の活動時に委員に選択を促してほしい。

12. 高齢メンバーへの対応策について

クラブの将来を見据え若返りを図ると同時に高齢メンバーのこれまでの貢献に報いる方法として、高齢の株主会員に株の譲渡をしてもらい、譲渡後はオナラブル会員(名称は検討課題)として活動してもらうことを考えている。終身会員については、今後取締役会で協議する。

13. クラン報告(事務局 松本)

10月19日現在670人の登録がある。平日のゲスト売上が上がってきている。10月14日のクランフレンドカップには66人が参加した。毎回30分の昼食時間を設定し、季節の地元料理を提供し好評を得ている。11月18日にもフレンドカップが開催される。

14. 営業報告(事務局 雪副支配人)

- ・ 9月の売上実績は2,331万円で計画比109万円のマイナス、前年比でも57万円のマイナスを計上した。来場者数は2,124名で前年比61名減であった。平日に悪天候の日が多く、190名のマイナスであったが、土日の来場者が多く、前年比61名減で収まった。10月の売上実績は(10月18日現在)1,638万円で前年比250万円プラス、来場者数は1,552名で前年比232名増であった。土日の来場者数増が売上に貢献した。
- ・ コジロー会員は9月に普通会员3名、家族会員1口2名、10月は18日現在普通会员2名、家族化委員1口2名の入会があり、9月末までの累計は普通会员79名・家族会員23口46名となった。
- ・ 平日組売りは、9月はメンバー、ゲスト・ビジター、インターネットサイト利用者(M・GV・N)95組343名(M32名、GV240名、N71名)、10月は(10月18日現在)77組295名(M17名、GV169名、N109名)であった。

15. 池田理事からの提言

- ・ 宿泊とバスについて問題提起がなされた。→取締役会から説明があった。
- ・ 特別年会費の徴収が余儀なくされた事象に対する経過報告と結果についての責任の所在を明らかにする必要があるのではないか。→経過は随意報告されているし、メンバー全員が責任を持つ当クラブの性格上、どのように対処すべきか難しいとの意見もあった。

次回理事会は11月16日(月)19時00分～ 場所：未定 議長は広報委員会